

新型インフルエンザワクチン接種について

～妊娠されている方へ～

妊娠されている方のワクチン接種について

- 海外の事例では、妊娠されている方が新型インフルエンザに罹患した場合、重症化するリスクが高いという報告があることから、日本でも妊娠されている方を優先接種の対象としています。
- 妊娠中にインフルエンザワクチンの接種を受けたことにより流産や先天性異常の発生リスクが高くなったという報告は現在のところありません。
- かかりつけ医と相談した上で、接種の適否、時期を決定してください。

ワクチン接種の流れ

妊娠されていて、ワクチン接種を希望される方

かかりつけ医(産科・産婦人科)に相談

かかりつけ医が受託医療機関の場合

かかりつけ医が受託医療機関でない場合

接種の予約

- ・接種できる医療機関に予約を入れる。
- ・接種を受ける時に母子健康手帳を提示する。

ワクチンを接種 ※妊娠されている方の接種回数は1回です。



妊婦さんは、保存剤が入っていない種類のワクチン接種を希望により選択することができます。

*保存剤なしのワクチンとは

インフルエンザワクチンには、通常保存剤が添加されています。今回の新型インフルエンザワクチンは保存剤が添加されていないワクチンが妊婦用につくられ、希望により選択することができます。

ワクチン接種の留意点 ～効果と副反応～

◇インフルエンザワクチンの効果

- ・ ワクチンは、重症化の防止には効果を期待できますが、接種したからといって、かからないわけではありません。

◇ワクチンによる副反応

- ・ ワクチン接種後には、接種部位に腫れが出たりといった副反応が出る場合があります。
- ・ ほとんどは軽い症状でおさまりますが、長引いたりして気になるときは、接種した医師に相談してください。

感染を予防するためには、十分な休養やバランスよく栄養をとって体調を維持することや、手洗いやうがいなどにより予防に努めることが大切です。

